

第 12 回東北 MISt 研究会報告書

2019 年 1 月 27 日 (土)、仙台市にて第 12 回東北 MISt 研究会を開催いたしました。本会は限られた時間の中で 13 演題を活発にご討議いただき、盛会のうちに終了させていただきました。午前中の一般演題ではいずれも興味深いご発表で、best presentation award は岩手医科大学 遠藤 寛興 先生が「成人脊柱変形手術における下位腰椎前弯作成の重要性の検討」のタイトルで、best discussor award は石巻ロイヤル病院の佐藤貫洋先生がそれぞれ受賞されました。

ミニレクチャーでは 3 名の講師の先生より「整形外科医と職業被曝」についてご講演いただきました。去る第 91 回日本整形外科学会ではシンポジウムとしてテーマにも取り上げられ、その危険性について広く認知されることとなり、本研究会でもテーマとして提案させていただきました。MISt による患者への低侵襲化の反面、医療従事者が受ける被曝量の増加が問題となっており、講師の先生方には自験例を含め非常に興味深い講演を頂くことができました。

午後の特別講演では名城病院 脊椎脊髄センター長の川上紀明先生より「脊椎インストゥルメンテーションの光と影」のタイトルでご講演を頂きました。脊椎手術の基礎や、ご自身の低侵襲化を試みた結果経験した失敗談、基礎を疎かにし、ともすれば MISt に傾倒しまいがちな現在の流れに警鐘を鳴らすようなメッセージをいただきました。

1 月の仙台開催でしたが好天に恵まれ、懸念していた交通機関の乱れもなく予定通り盛会に終了できたこと、心より感謝申し上げます。

最後となりましたが会の開催に当たり共催、ご寄付いただいた企業の皆様にもこの場をお借りして深謝いたします。日本 MISt 研究会は 2019 年より MISt 学会と名称を変え、新たな船出となりますが東北 MISt 研究会は現存の体制で継続予定となっております。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

第 12 回東北 MISt 研究会
当番世話人
市立函館病院 整形外科
塩崎 崇

